

バラモンキング 2014

結果 72位/653人 Aタイプ 25-29男子 5位

Time 11 : 31 : 07 Swim 00 : 56 : 21 Bike 06 : 14 : 51 Run 04 : 19 : 55

足首の怪我を抱えたまま出場した前回大会とは違い、今回体の状態はすごく仕上がっていた。練習会でもバイクのスピードが上がってきており、当然バイクは6時間切り出来ると思っていた。直前に出場できなくなった3名のチームメイトの分まで必ずバイクで納得のいく結果を出したい気持ちがあり、気合十分で五島入りすることが出来た。昨年と違う自分を見せたい！早くレースが始まらないかと、うずうずしていた。



Swim

スイムは昨年と比べ、練習の距離を倍近くに増やすことが出来ていた。そのため3.8kmという距離に対する不安はまったくなかった。ウェットスーツでも肩回りが脱力できるよう、ストレッチも習慣的に行っていた。

当日、水温は21℃、寒いのが苦手な私は、アップを最小限に済ませ、ぎりぎりに入水しスタート位置

についた。目標としていた選手は福岡ハイライダーの大塚選手。この選手に1周でもついて泳ぐことが出来ればあとは上位で泳ぎ切れると思っていた。

笛の音がなり、レーススタート。スタート時に横にいた選手にいきなり上に乗られるが、落ち着いて対処した。しかし、その一瞬で大塚選手を早くも見失っていた。目の前を泳ぐ選手は2名。どちらかが大塚選手か？とにかくその2名の選手について第1ブイを回った。ペースは思ったよりゆっくりとしたものであったが、大集団からは前に抜け出しており、非常に泳ぎやすいポジションだった。第2ブイまでに前の一人が脱落し、残った1人と並んだ。それは当然、大塚選手ではなかった。しかし、前を向いたが前に選手の姿はなく、自分が先頭？と錯覚してしまった。気持ちよく先頭のつもりで1週目フィニッシュ！体力はほとんど使うことなく泳ぐことが出来ていた。まさかスイムラップトップ？大塚さんどこ行った？ということばかり考えていた。2週目、一緒に泳いでいた選手のビートが強くなり、スピードアップしたかと思ったが、そのまま脱落していった。おそらく私の後ろにいた選手たちも一緒にいなくなっていた。まさか、と思いながら単独で最後の直線を泳ぎ、スイムフィニッシュ。時計のタイムは56分。昨年のタイムは1時間7分。これには嬉しくなった。「スイム3位の選手が上がってきました！地元長崎県の選手です！」というアナウンスが聞こえた。スイムやはりトップじゃなかったが、練習の成果が出せたことが、本当にうれしかった。トランジットテントまで、誇らしい気持ちだった。よし、ここからが本番！Viking長崎の選手として、バイクは頑張らないと！今回は、バイク中のストレス軽減のため、時間をかけてでもバイクジャージに着替えた。

Bike

バイクスタート時、池形さん、なっちゃんが応援してくれた。スイムですぐ後ろに山本選手がいるという情報もくれた。山本選手はいさはやTT100kmでも2時間36分で走った強豪選手。山本選手を目標にして走ってみようという作戦を思いついた。無謀かもしれないが、今回はバイクでとにかく頑張りがかった。バイクが始まってすぐ、速い2名の選手に抜かれたが、後ろから他の選手は来ていなかった。10kmに差し掛かったところで、山本選手に追いつかれた。ここは絶対行くしかない。ギアを入れなおし必死で追いかけた。

しかしこれが、今回のバイク失敗の原因となってしまった。最終的に山本選手はバイクラップ5時間24分でゴール。これは今回私が目標としていたタイムより30分以上も速いタイムだった。その見極めができずオーバーペースとなった。35kmで足がパンパンになり、ペースはみるみる遅くなった。捕まえた大塚選手や後続の選手に次々に抜かれた。VIKINGの仲間の古賀保隆選手や佐々原選手にも一瞬で置いて行かれた。また、同じカテゴリの選手や、ロードバイクの選手に抜かれるのは、とても悔しかった。このままでは6時間切りが出来ないと思うと、仲間に申し訳ない気持ちになった。それから足が復活してきたのは90km地点くらいだった。バイクの2週目に入り、なんとかペースを取り戻し、調子を上げながら進んだ。しかし、足は回復していたが、あまり補給食を食べる気になれず、やはり残り20kmで失速が始まった。それまでに抜いた選手にまた抜かれながらなんとかバイクフィニッシュした。時計のバイクタイムは6時間7分、トランジットをいれるともう少しかかっている…。今年もダメだった。なぜ弱いのだろうと思いながら、テントで着替えた。



Run

気持ちは落ち込んでいたが、足は思っていたより軽かった。もしかしたら、ここから調子を上げて4時間以内で走れば11時間がされるかもしれない！期待をもつと少し元気がわいた。スタート直後になっちゃんのスポンサーである山岡さんから力強い応援を頂き、また勢いがついた。

2週間前の上五島大会では、ランスタートして急に暑さを感じた。そのため今回はボトルを持ってスタートし、第一エイドまで水を飲むようにした。今回もやはり走り出すと思った以上に暑く、また、レーススタートして1度もトイレに行っていないことを考えると、脱水でダウンするリスクが高いことが考えられた。そのため、その後もエイドごとに水をかぶり、ボトルにスポーツドリンクを入れる作業を、繰り返した。

最初の折り返しまでに同じカテゴリの選手を3人ほど確認したが、皆力強く走っていた。ここで私の弱いところが出てしまった。最初の10キロを56分、このままいけば4時間だから、前との勝負は止めて4時間でまとめようと思ってしまったのだった。前を追うのを諦めてしまうと、スピードはじわじわとおちてきた。次の10キロは1時間5分、次は1時間7分もかかった。このままでは4時間は到底きれないと分かっていたが、自分を奮い立たせる気持ちが沸かず、切り替えることが出来なかった。このま

ま 11 時間ちょっとでゴールしよう。最後の 10 キロになった。足はガチガチだが呼吸はほとんど乱れていなかった。ペースはキロ 7 分近くにまで落ちていた。チームメイトや沿道の方々、みんなが応援してくれていた。埼玉の知り合いの選手に抜かれた。後ろには佐世保の深江選手も迫っていた。それなのにそれ以上頑張ることが出来なかった。



ラスト 5 キロ、11 時間半さえも切れないかもしれないと気がついた。そこでやっとギアチェンジ出来た。キロ 4 分半くらいまで簡単にペースが上がった。ラスト 3 キロは下りと平坦、いよいよペースアップしてゴールへ向かった！11 時間半まで残り時間はわずか。間に合ったか！？ドキドキしながらレッドカーペットへ…！！しかし、掲示板の時間は、むなしくも 11 時間半を回っていた。頑張っているつもりになっていて、最後は力が残っている自分に腹立たしかった。ランは気持ちの弱さが出てしまった。気持ちを高く保ち続ける準備や工夫が足りていなかった。



総評

結果として、総合タイムでは昨年から 90 分のタイム短縮にはなったが、目標としていたバイクラップ 6 時間切り、ランの途中で決めた 11 時間半切り、そのいずれも達成出来なかった。来年に向けて、今年得られた課題を克服していきたい。また、来月には国体予選となる天草大会も開催される。今回の経験を活かし、最大限の準備をしようと思う。

今回、大会を支えていただいた関係者、ボランティアの方々、応援していただいた全ての方々に感謝します。ありがとうございました。

